

平成27年度 配分施設等の訪問の実施

寄付金配分施設等の訪問

平成27年度

寄付金配分施設等の見学訪問を平成27年11月に実施しました。



大阪府共同募金会では、役員・評議員で構成する調査指導部会(委員長 江浦保氏)活動として、毎年、配分を受けられた施設、団体、社会福祉協議会などを訪問し、共同募金の活用状況の調査、住民への公表等の指導を行っています。『もっと知りたい知らせたい』キャンペーンの一環として、寄付者である住民のみならずにもっと配分事業を知っていただくこと、今年もこの調査指導部会活動に同行参加される方を公募(本会ホームページ、大阪府・大阪市社会福祉協議会の機関紙に掲載)し、下記日程にて見学訪問(本会参加委員延べ23名、一般参加者延べ10名)を実施しました。

訪問先の各施設・団体では、共同募金がどのように役立てられているか、具体的かつ詳細にわたって説明を受け、本会委員をはじめ一般参加者からも熱心に質問や意見、感想がだされ大変有意義な時間を過ごしました。

| グループ名 | 訪問日 | 訪問施設・団体名 | 施設・団体の業種 | 所在地 | 本会委員参加者 | 一般参加者 |
|-------|----------------|---------------------|------------------|--------|---------|-------|
| Aグループ | 平成27年11月5日(木) | 富田林市社会福祉協議会 | 社会福祉協議会 | 富田林市 | 5名 | 3名 |
| | | 梅の里保育園 | 保育所 | | | |
| Bグループ | 平成27年11月9日(月) | 大阪市浪速区社会福祉協議会 | 社会福祉協議会 | 大阪市浪速区 | 8名 | 3名 |
| | | 国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター | 社会福祉団体 | 大阪市中央区 | | |
| Cグループ | 平成27年11月17日(火) | 阪南市社会福祉協議会 | 社会福祉協議会 | 阪南市 | 5名 | 2名 |
| | | ライフケア尾崎 | 軽費老人ホーム | | | |
| Dグループ | 平成27年11月24日(火) | 大阪市都島区社会福祉協議会 | 社会福祉協議会 | 大阪市都島区 | 5名 | 2名 |
| | | デイサービスほっと。 | 児童発達支援・放課後デイサービス | | | |

■富田林市社会福祉協議会



平成27年度配分金 2,106,819円

■梅の里保育園



平成27年度配分金 1,000,000円
電動式オーニングテント整備

■大阪市浪速区社会福祉協議会



平成27年度配分金 1,777,758円

■国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター



平成27年度配分金 1,150,000円
自殺防止活動の充実と啓発事業費

■阪南市社会福祉協議会



平成27年度配分金 2,836,188円

■ライフケア尾崎



平成27年度配分金 1,125,000円
通院・行事参加用軽福祉車両整備

■大阪市都島区社会福祉協議会



平成27年度配分金 3,682,159円

■デイサービスほっと。



平成27年配分金 240,000円
パソコン3台整備

一般参加者から寄せられた感想をご紹介します。

(Aグループ)

「富田林市社会福祉協議会」、「梅の里保育園」への現地訪問

11月5日、共同募金による施設訪問に同行させていただきました。これまで、赤い羽根共同募金のことは漠然と、募金活動の形態としかとらえておらず、訪問の前に社協での説明（事前学習）で初めて詳細を知りました。

寄付金がどのように社会に役立っているのか？とても気になっていましたが、資料に配分金が公表されており、とてもよく分かりました。富田林市の募金額も知ることができました。寄付金は各都市に平等に還元されているとばかり思っていたのですが、募金額に応じて配分されているのですね。地域におろされた配分金がきちんと使われていることもほっとしました。

施設訪問では、梅の里保育園に行き、電動式オープニングテントを拝見しました。電動シャッターで開閉できるテントにより小さな子供たちが夏の日差し、雨天時の送迎から守られていると感じました。子どもたちも、夏の炎天下の折でも外で遊ぶことができるようになりました。日射病にならなくて済むようになりました。

共同募金のシステムは、募金をする私たちにとって、とても安心できるものでした。みんなが助け合って生きていくために、共同募金はこれからも不可欠なもので、私たちの地区住民の意識が上るよう啓発に努めてみたいと思います。何気なく募金していた私ですが、赤い羽根募金がこれからも多くの人達に社会に役立つことを祈っています。今回は貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

(Aグループ参加、Fさん)

(Bグループ)

「大阪市浪速区社会福祉協議会」、「国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター」への現地訪問

初めて参加させていただき、日頃、地域福祉活動、デイサービス、介護予防、老人福祉センターの運営等々、幅広く活動しておられることを聞き、我々も少しでも役に立つことがあればお手伝いをさせてもらおうと考えております。また、自殺防止のための活動報告を聞き、ひとりでも多くの人が救われるよう、広報活動を広められることをお願いいたします。

(Bグループ参加、Kさん)

(Cグループ)

「阪南市社会福祉協議会」、「ライフケア尾崎」への現地訪問

ライフケア尾崎事業所に共同募金配分金事業により福祉車両が配備されたことは嬉しいことです。事業所（施設）をとりまく地域での環境資源の特徴・変化を把握し、様々な形でボランティア・福祉に携わる人達等を受け入れ、地域の人々との交流を図っていると思われまます。地域社会と向き合っています。

施設内では、掲示板の利用等で催し物・行事ほかを家族・入居者に提供し、周知を図っています。

福祉車両の配備が入居（利用）者の活動範囲を広げ、地域の人々と交流をより一層深め良好な関係を築く体制が職員・スタッフの姿勢からうかがえます。

地域のニーズに基づいた新たな福祉サービスの充実が展開されるよう望みます。阪南市社協が「ふくしのまちづくり（地域福祉）」に多様な事業を展開し、地域の福祉課題に取り組み、住民が安心して暮らせるまちづくり・・・にと理念があります。

赤い羽根共同募金活動収入の7割が地域の様々な福祉活動に配分され、役立つ意義の意味を知りました。

(Cグループ参加、Fさん)

(Dグループ)

「大阪市都島区社会福祉協議会」、「デイサービスほっと。」への現地訪問

本日はいろいろありがとうございました。

募金の使いみち分配について、こと細かくお話を聞かせていただき、いろいろなかたちで、支援していただいていることを知ることができました。

“ほっと”さんを訪ねて、説明を聞かせていただき、今、送られたパソコンを生かして楽しみながら先々に向けて役立てられるような、人を育てることをめざし、見守りながら、ほっとできる居所を、とおっしゃったことに心動かされました。いくらでも支援は必要ですね。

(Dグループ、Tさん)